

乳腺・総合外科

1. スタッフ（平成24年4月1日現在）

科 長（准 教 授）	穂積 康夫
外来医長（助 教）	竹原めぐみ
病棟医長（5B）（学内講師）	宮倉 安幸（兼）
医 員（助 教）	竹原めぐみ
病院助教	塩澤 幹雄 櫻木 雅子 宮崎千絵子
大学院生	大澤 英之
非常勤医員	水沼 洋文 吉澤 浩次 尾本 和

2. 診療科の特徴

大学付属病院では、数少ない乳腺疾患の専門診療科として、県内はもとより茨城、埼玉、群馬からの患者も多く、北関東では有数の症例数である。放射線科、臨床検査医学の協力で、質の高い診断を行っている。手術では、乳房温存が不可能な場合、希望により、形成外科の協力の元、乳房再建術を行っている。治療では、世界標準治療を行うことを原則とし、さらに新たな標準治療の確立のため、国内外の乳癌専門施設と共同で多くの臨床試験、治験を積極的に行っている。

診療内容

乳腺：乳房温存手術、胸筋温存乳房切除、センチネルリンパ節生検、乳房再建、化学療法（術前術後療法・進行再発-AC、EC、FEC、TC、TAC、パクリタキセル、ドセタキセル、トラスツマブ、ラパチニブ、ペバシツマブ、ピノレルピン、カペシタピン、TS-1、エリブリン）、内分泌療法（LH-RHアナログ、SEAMs、AIs、フルベストラント、MPA）

3. 診療実績

1 新患者数・再来患者数・紹介率

外来患者総数	12,759人
新患者数	695人
再来患者数	12,064人
紹介率	67.6%

2 入院患者数（病名別）

病 名	患者数
乳癌	287
その他の乳腺疾患	7
合 計	294

3-1 手術症例病名別件数

病 名	人 数
乳房温存術・乳腺部分切除術	7
乳房温存術+センチネルリンパ節生検	120
乳房温存術+腋窩リンパ節郭清	16
乳房切除術	3
乳房切除術+センチネルリンパ節生検	65
乳房切除術+腋窩リンパ節郭清	16
その他の手術	10
合 計	237

3-2 手術術式別件数・術後合併症件数

	症 例 数	合 併 症 件 数	再 手 術 症 例 数
乳房温存術	143	1	0
乳房切除術	84	0	0
その他の手術	10	1	0
合 計	237	1	0

4 化学療法症例・数（入院）

乳癌 6件
250件（外来）

化学療法プロトコール

①乳癌	
1	アドリアシン（ドキソルビシン） エンドキサン（シクロフォスファミド）
2	ファルモルピシン（エピルピシン） エンドキサン（シクロフォスファミド）
3	タキソテール（ドセタキセル） エンドキサン（シクロフォスファミド）
4	ファルモルピシン（エピルピシン） エンドキサン（シクロフォスファミド） 5-FU（fluorouracil）
5	タキソテール（ドセタキセル）
6	週1タキソール（パクリタキセル）
7	メトソトレキセート 5-FU（fluorouracil） エンドキサン（シクロフォスファミド）
8	ナバルピン（ピノレルピン）
9	ハラヴェン（エリブリン）
10	ハーセプチン（トラスツマブ）

5 放射線療法症例・数（入院）

乳癌 8件（入院）
220件（外来）

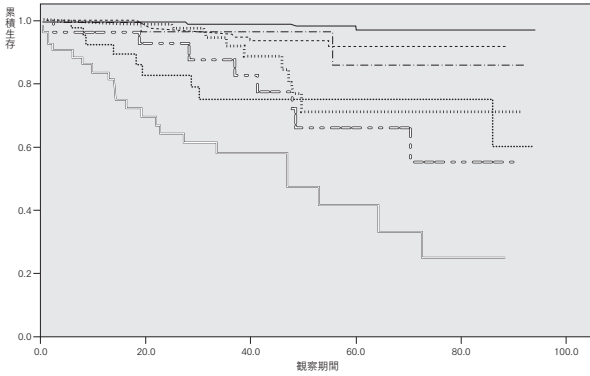
6 その他の治療症例・数（外来）

乳癌に対するホルモン療法：950件

7 クリニカルインディケーター

(1) 悪性腫瘍の疾患別・臨床進行期別治療成績

7-1 乳癌



stage0 (---: n=53)	5年生存率85.8%
stage I (----: n=400)	5年生存率98.4%
stage II A (—: n=251)	5年生存率92.0%
stage II B (.....: n=108)	5年生存率71.0%
stage III A (==: n=31)	5年生存率66.1%
stage III B (.....: n=41)	5年生存率75.1%
stage IV (==: n=57)	5年生存率41.7%

8 死亡症例

入院死亡数：11人

手術死亡数：0人

剖検数：0件（剖検率 0%）

9 主な処置・検査

超音波検査	2500件
マンモグラフィ	3000件
マンモトーム生検	50件
コアバイオプシイ	350件

10 カンファランス症例

術前カンファランス 250件

治療カンファランス 400件

4. その他・来年度の目標等

臨床腫瘍科と共同で、外来化学療法センターの更なる拡充を図る。

既存の診療科やコメディカルとの協力をさらに進め、乳癌のチーム医療の確立を図る。

病診連携クリニカルパスを作成し、県内外の医療機関と病診連携を進める。